

21世紀へのメッセージ
大正に生まれ、差別と闘い、昭和・平成と生きてきた
一人の女性の心温まる感動のドキュメンタリードラマである。

大地の母きく夏

文部科学省選定

青少年育成国民会議推薦



ふれあい
うどんづくり
交流会を地域で
広めている
きくあさん

人と人とのふれあいを
人のため、命を輝かす
をまごころのきくあさん
きくあさん、きくあさん



監督 ■ 原田 隆司
松芳きくあ
駒田 真紀
小坂 明恵
都解 彩生
西田 明永
プロデューサー ■ 八頭司重信
脚本 ■ 八頭司重信
撮影 ■ 林 健作
照明 ■ 益田 和昌
録音 ■ 山川 暢之
VE ■ 中山 裕
製作 ■ 八頭司 享
かづみ
根本 親良

撮影協力 龍野市立/龍野小学校・揖西西小学校・構教育集会所

大地の母 きくゑ

文部科学省選定

青少年育成国民会議推薦

(上映時間32分)



監督 ■ 原田 隆司
松芳 きくゑ
駒田 真紀
小坂 恵
熊 萌恵
都解 彩圭
西田 明永
か づ み
根本 親良
企画・監修 ■ 根本 親良
プロデューサー ■ 八頭司 重信
脚本 ■ はづしたかし
撮影 ■ 林 健作
照明 ■ 益田 和昌
録音 ■ 山川 暢之
VE ■ 中山 裕
製作 ■ 八頭司 享

差別を乗り越え、人々の温かい心に支えられながら生き抜いてきたきくゑ —— !
生活苦から考え出されたうどん作りが、思わぬところで地域社会で役立つこととなり、
80歳すぎた今でも、きくゑの活動はとどまることを知らない。



きくゑは、大正・昭和・平成と生き抜いてきた。幼い頃は父母、兄5人、姉3人、妹2人の大家族の中、貧乏に追い打ちをかけるように父親が怪我をして働けなくなり、母のふさゑは子どもを育てるのに必死で働いた。家族は、米の飯などほとんど食べる事はなく、ひえ、団子汁ばかりで、母が作る手打ちうどんが主食だった。きくゑは母を手伝っているうちに、いつしか自分でうどんの打ち方を覚えた。大きくなり、母と家族を助けるために大阪へ女中奉公として働きにでて、好きな人もできたが、部落に生まれたことを隠していた。話せば自分も親戚の者も部落出身と分かる。その事が怖くて自分から身を引いた。そして戦争も激しくなり、二人の兄も戦死、妹も病死する不幸もあったが、縁あって松芳と結婚した。子どもも生まれ、幸せな日々の中、辛いことが起こった。娘が、仲の良かった友達の親から酷い差別を受けた。その時の悲しみと悔しさは今でも忘れられない。きくゑは、子ども達と家族を守るために差別と闘う決心をする。読み書きの勉強もした。みんなと一緒に仕事の保障への取り組みにも頑張った。人権集会にも進んで参加して勉強もした。そして51歳のとき学校の用務員として働く事ができて人々の温かい心にもふれる事も出来た。

差別を乗り越えてきたきくゑは56歳で用務員を退職。その後、平成に入り、母から習ったうどん作りが、思いもよらず地域社会で役立つこととなった。毎年、龍野小学校の6年生の児童と保護者のみなさんと『ふれあいうどん作り交流会』を続けて10年以上になる。今日はその日、粉の練り方から、

練った粉をのぼして一本のうどんに挑戦している児童と保護者の真剣な顔と明るい笑顔がある。

うどんが「出来た」「美味しい」の声があちこちで聞こえる。

食べ終わった後、きくゑは皆に語る。「私の子どもの頃は、部落差別がきつく働く所も少なく、ムラの人はみんな貧乏でした。わずかに採れる米はほとんど供出で、年貢として取り上げられ、家族の食べる米は殆ど残らなかった。考えたのが、麦を粉にして作る手打ちうどんでした」聞いている児童と保護者の目は輝いている。

更に、きくゑは「うどんを打つたびに母の事を思い出します。食べ物の無い時、一家を支え差別の中を生き抜いた父や母の事を」・・・昔を思い出したのか、目にうっすらと涙を浮かべている。そして「今は、人々の温かい心にふれ、苦労して私達を育ててくれた母のことと部落に生まれた事を誇りに思っています」と話す。

体育館は、児童と保護者の大きな拍手がこだましている・・・この活動が小学2年生の教科書にものった。

80歳を過ぎてもきくゑの活動は続く、多くの地域で『ふれあいうどん作り交流会』を開き、夏には各地の『ふれあい盆踊り大会』にも参加して踊り、人々とふれあい、交流し、喜びを分かち合っている。

今日も早朝から、みどりのおばさんとして登校する児童の安全を守り、子ども達を誘導しているきくゑの姿がある。



●お申し込み・お問い合わせは

有限会社 博映商事

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】 <http://hakuei-shoji.jp>

【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp

